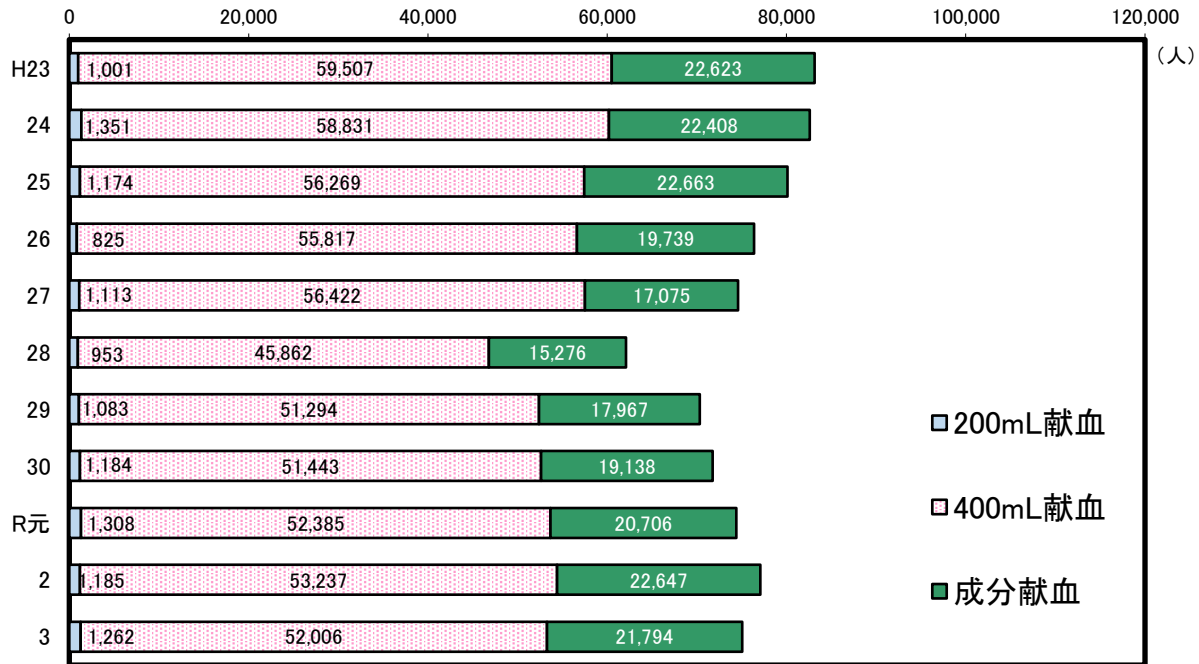


熊本県の種類別献血者数の推移



解 説

【概要】

令和3年度の県民の献血状況は、献血者数が75,062人で、前年度と比較すると2,007人減少した。献血種類別では、200mL献血者が1,262人、400mL献血者が52,006人、成分献血者が21,794人となっており、需要の多い400mL献血者は前年度の53,237人から1,231人減少した。

また、献血率は6.9%であり、全国平均6.1%に比べて高かった。

令和3年度の献血量は、200mL献血量が252.40L、400mL献血量が20,802.40L、成分献血量が12,589.44Lとなった。

○献血者

日本赤十字社が実施した献血事業に対し、無償で血液の提供を行った者のこと。なお、献血事業は現在全て日本赤十字社によって実施されており、血液センター、採血出張所及び移動採血車によって行われている。

○献血率

「住民基本台帳人口要覧」及び「国勢調査」に基づく各年の献血可能年齢（16歳～69歳）の人口に占める献血者数の割合。

○千人当りの献血量

献血量 ÷ (総務省統計局「国勢調査」に基づく令和2年10月1日現在人口 ÷ 1,000)

○高校生の献血率

高校生献血者数 ÷ 献血者数 × 100

資料出所	調査期日	調査周期
「血液事業年度報」 日本赤十字社	令和3年度	毎年